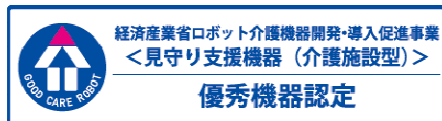


## 高齢者と家族のいきいきとした最良の人生に“エール”を。 **「業界初の予測型見守りシステム「ネオスケア」発売」** ～NKワークス いきいきらいふプロジェクト～

ノーリツ鋼機グループのNKワークス株式会社(本社：和歌山県和歌山市、代表取締役社長：藤本 倫生)は、長年にわたり培った画像処理技術を活用した高齢者と家族のいきいきとした最良の人生をサポートする業界初の予測型見守りシステム「ネオスケア」を本日10月6日より、正式に発売開始いたします。

「ネオスケア」は従来の見守り機器とは異なり、最先端のロボットテクノロジーを用いた極めて精度の高い見守り機能と人間による繊細な見守りを融合することで、今までできなかった見守りを可能とする革新的なロボット介護機器です。

1. 昼夜を問わず暗室でも対象者の動きを見ることができる赤外線センサー
2. 対象者の様々な動作パターンを認識できるセンシング機能
3. 介護現場の見える化（プライバシー保護対応）を実現するリアルタイム映像配信機能
4. 生活不活発病を早期発見できる日常生活動作（ADL）のモニタリング機能
5. 最適な介護プラン作成に役立つ検知履歴・映像録画機能



※経済産業省ロボット介護機器開発導入促進事業における、「見守り支援機器(介護施設型)」の「優秀機器認定」第1号製品

この製品は、ロボットテクノロジーを搭載した“見守り”により介護・医療の現場における転倒・転落事故を減らし、介護負担を軽減するだけでなく、より適切な介護技術の提供、ケアプラン作成に生かすことが期待されています。その中には目標指向的介護の実践、本人・家族への十分な情報提供、超高齢化が進む日本において問題視される高齢者の生活不活発病の予兆を早期発見し予防・改善プログラム作成に生かすこと等があります。（共同研究：産業技術総合研究所 大川弥生医学博士）

そのような期待に応えるためにも、高齢者だけではなくその家族もいきいきとした生活を過ごせることが最良の人生の原点であると考え、“いきいきらいふプロジェクト”を発足いたします。

本プロジェクトは、本製品による見守り支援だけではなく、ロボット介護機器から得られる生体・生活情報をビックデータとしてM2M・IoTサービスを提供することにより、「いきいきとした最良の人生」の実現に貢献して参ります。「ネオスケア」の発売は、“いきいきらいふプロジェクト”の起点となります。

### ◎日本が抱えている課題に対して

「2025年問題」と呼ばれる、3人に1人が65歳以上となる超高齢化社会が目の前に迫っており、高齢者を支える介護者の深刻な人手不足の対策の必要性は待ったなしの状況を迎えています。

その要因の1つであるのが介護者の離職問題であり、本製品は介護者に代わって身体的・精神的負担を担うことで介護者の負担を軽減させることができます。また、本製品による介護現場の見える化により、介護の“現状把握と課題分析”、“課題対策や教育”が可能となり、介護者の離職率低減にも貢献できると考えております。

なお、明日から東京ビッグサイトにて開催されます国際福祉機器展（HCR）にネオスケアを出展しておりますので、東6ホール特設会場C「福祉機器開発最前線」にてお待ちしております。  
また、東6ホール特設ステージにて下記の時間にデモンストレーションを行います。

10月7日	10月8日	10月9日
11:30～11:40	15:00～15:10	11:45～11:55

## ネオスケアの保守・サービス体制

ネオスケアの保守・サービスは、株式会社日立システムズ様との業務提携により、365日対応のコールセンターと全国約300か所のサービス拠点からのオンサイトサービスを実現いたします。これにより、日本のどの地域でも均質かつお客様に密着したサービスを提供できる体制を整えております。

（※日立システムズ様についての詳細は <http://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。）

日立システムズ様とは、機器の保守メンテナンスにとどまらず、「いきいきらいふプロジェクト」においても、生活動作情報を蓄積・分析して介護サービスやケアプランに生かす仕組みの実現のため、その保有する高品質・高信頼のITインフラを活かした協力体制を構築して参ります。